

あいおいニッセイ同和損保 夏季オープンカンパニー実施

# 学生考案商品のプレゼン大会開催



当日は約130人の学生が参加

あいおいニッセイ同和損保は8月5日、東京都渋谷区の同社新宿ビルで、就職活動をする学生向けに、業務に対する理解度向上を目的に夏季オープンカンパニーを実施した。当日は、8月2日・4日と2日間継続して行われてきたチームの最終日で、約130人の学生が参加。1グループ7～8人にグループ分けされた学生が、これまでの2日間で考案した保険商品・サービスを紹介するプレゼン大会を開催し、社員審査により優勝グループを決定した。

3日間にわたる同社の夏季オープンカンパニーでは、DXを活用して社会との共通価値の創造を加速し、CSVA (Creating Shared Value) の連鎖を生んでいくこととする同社の事業戦略、CSV×DXを紹介するとともに、学生により深くCSV×DXを理解してもらったための取り組みとして、保険商品・サービスを考案してもらうグループワークを実施している。1日目には損害保険の意義・使命やCSV×

DXの概念を伝える座学、2日目にはグループワークを実施し、社会課題解決のための付加価値やサービスの展開の仕方などについて理解を深める。そして3日目には、これまでの2日間で完成させた企画をグループごとにプレゼンし、優勝グループを決定する。3日間の最終日となった8月5日当日は、午前中から各グループが考えた商品・サービスのプレゼン大会を実施し、優勝候補となる2チームを選出した後、午後にはその2チームによる最終プレゼンが行われた。人事部を中心とする社員で構成された審査員による審査の結果、優勝には「オー

## グループワーク通じてCSV×DX学ぶ

バーリズムによって発生する交通渋滞とゴミ問題の解決サービス」をプレゼンしたグループが選ばれた。参加した学生からは、「初対面の人とのグループワークを初めて経験した。最初のうちは緊張したが、2・3日目にはそれも解けていろいろな意見を交換できて楽しかった」「アイデアマンとしてチームに貢献できたという達成感がある」「CSV×DXの概念がよく分かった。企画に対する社員の方のフィードバックを受けて、これから社



(左から) 人事部採用グループの吉本浩紹氏、 靏島知奈美氏、 野口亮輔氏

各回のプレゼン大会で優勝した全16チームは、11月に開催予定の特別プレゼン大会「CSV×DX Award」に出場する。「CSV×DX Award」では、出場16チームの中から最も優れた商品・サービス企画を決定する他、商品企画部門やデジタルを駆使した戦略を担う部門等の社員が、全チームの企画に対して実務的な知見から改善点などのアドバイスを送る。

また、同社では年間を通じた社員と学生の接点強化に向け、対話する機会を多く創出するプログラムとして、昨年度から「AD Dialogue (タイアログ)」を展開している。今回の夏季オープンカンパニーや「CSV×DX Award」も同プログラムの一環で行われており、同プログラムではこの他、夏季オープンカンパニー参加者を対象に9～11月の3カ月間に合計3回、さまざまな部署の社員との1回30分のオンライン面談の機会を提供する「AD Dialogue Meet 1on1」を実施している。今後は、来年1月以降に冬季インターシップも実施される予定だ。

人事部採用グループ長の野口亮輔氏は、「AD Dialogue Meet 1on1」では、各部署から手を挙げてくれた合計約500人の社員が学生とオンライン面談を行う。今回のオープンカンパニーもそうだが、「AD Dialogue」には人事部以外の社員が多数参加しており、こうした部署の垣根を越えた当社のチームワークの良さも、多くの学生に感じ取ってもらえたら」と述べている。